

『第5回 新製剤技術とエンジニアリングを考える会』プログラム
タワーホール船堀(江戸川区総合区民ホール)

2007年7月24日(火)			2007年7月25日(水)		
千葉大学 山本恵司氏/第一三共(株) 中上博秋氏/岐阜薬科大学 竹内洋文氏			アステラス製薬(株) 徳永雄二氏/名城大学 砂田久一氏/愛知学院大学 川島嘉明氏		
1	10:10~ 10:55	杉山雄一先生 東京大学大学院 薬学系研究科 医薬品評価科学講座 教授 『トランスポーター研究と創剤・創薬:薬物治療の最適化を目指して』	1	10:10~ 10:55	土井脩先生 財団法人日本公定書協会 専務理事 『わが国の医薬品産業と行政に期待されるもの』
2	10:55~ 11:40	寺田勝英先生 東邦大学 薬学部 教授 『物性評価法の進歩と製剤開発への応用』	2	10:55~ 11:40	Dr. Roger Nosal, Pfizer Inc., Executive Director Regulatory CMC – Worldwide Pharmaceutical Sciences 『ICH Q8、Q9、そしてQ10の統合 – FDAパイロットプログラムからどのようにしてQuality by Designが薬事上進展したか』
	11:40~ 12:40	ランチョンセミナー 長門琢也 株式会社パウレック 技術本部 開発部 チーフエンジニア 『製剤装置の技術開発動向』	3	11:40~ 12:40	ランチョンセミナー 夏山晋 株式会社パウレック 技術本部/開発部 取締役部長 『製剤装置の爆発災害への対策』
3	12:40~ 13:25	Mr. Julian J. Wilkins PharmaConsult US, Inc., Vice President 『経口固形製剤プロセスのコンテインメント化と製品品質』	4	12:40~ 13:25	後藤伸之先生 名城大学薬学部医薬品情報研究室 教授 (元:福井大学医学部付属病院薬剤副部長) 『臨床マインドに基づく薬剤・製剤探索』
4	13:25~ 14:10	長井省三先生 日本製薬工業協会 知的財産部長 弁理士 (元:山之内製薬 知的財産部長) 『ライフサイクルマネジメントと製剤特許戦略』	5	13:25~ 14:10	Dr. Richard Siwek FireEx Consultant, Managing Director and President 『製薬業界における爆発防護と安全対策』
	14:10~ 14:20	コーヒーブレイク		14:10~ 14:20	コーヒーブレイク
5	14:20~ 15:05	Dr. Sampath Krishnan Amgen Inc., Senior Scientist 『バイオ医薬品のフォーミュレーション開発:諸問題と挑戦』	6	14:20~ 15:05	Prof. Paolo Colombo The University of Parma, Head of the Department of Pharmacy 『ドームマトリックス®:フレキシブルな経口投与放出制御製剤のための新規技術』
6	15:05~ 15:50	Dr. John S. Patton, Nektar Therapeutics Co-Founder and Chief Scientific Officer 『経肺デリバリーと世界初のインシュリン吸入剤“Exubera”の開発』	7	15:05~ 15:50	Mr. Ashley Clarke Merck Sharp & Dohme, Research Fellow 『プレミネント錠™ - 2つの主薬を含む経口錠剤の開発』
7	15:50~ 16:35	矢田修一先生 第一三共株式会社 製剤技術研究所 固形剤研究第一グループ グループ長 『混合粉碎による5 α -還元酵素阻害剤の非晶質化と溶解性改善』	8	15:50~ 16:35	石塚憲三先生 武田ヘルスケア株式会社 代表取締役社長 (元武田アイルランド社長) 『海外工場のスタートアップとマネジメント』